

近畿産業考古学会

The Kinki Industrial Archaeology Society

第 126 号

目次

1. 会長就任のご挨拶・・・中山嘉彦・・・1
2. 会長退任のご挨拶・・・二階堂達郎・・・1
3. 見学会「文学作品に記録された近畿の鉄道と都市
景観」(神戸市中心部 その1)・・・1
4. 総会行事報告・・・寺島俊之・・・2
5. 2022 年度総会議案書議決結果の報告・・・3
6. 役員会の新体制について・・・3
7. 長壽會細菌研究所(工場跡)を訪れて
・・・二階堂達郎・・・3
8. 【お知らせ】商船三井ビル(神戸)が公開中です
・・・3
9. 【お知らせ】亀ノ瀬トンネルが公開されます・・・3
10. 学会誌の電子ジャーナル公開について・・・6
11. 会員計報
12. 2021 年度第 4 回役員会議事録・・・6
13. 2021 年度第 7 回役員会議事録・・・6

会長就任のご挨拶

中山嘉彦

2022 年度総会議決をもって第 4 代会長に就任いたしました。只今、三つの深化を願っております。第一は「文理融合」です。文部科学省も推奨する社会趨勢といえますが、現実には用語の表記やとらえ方が相違するなどの隔たりがあります。本学会はすでに文理融合を実践しているのではないのでしょうか。さらなる深化を願っております。

第二は「見学会のテーマ設定」です。近年、すでに実施しています。明確なテーマ設定によって、会員の皆さまの理解がさらに深化しますよう願っております。

第三は「短信執筆のお願い」です。日常や見学会の一コマを産業考古学的にとらえた短信執筆をぜひお願

いいたします。モノに対して抱かれた印象に情報検索成果を加えていただきましたら、短信骨子を完成できます。どうか多面的にお寄せいただき、本学会活動が広範に深化しますよう願っております。

前会長二階堂達郎先生はじめ会員の皆さまからご教示とお力添えを広く賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

会長退任のご挨拶

二階堂達郎

2022 年度総会議決をもって会長を退任いたしました。2005 年の創立以来、城下壮平初代会長、安田孝 2 代会長が務められてきた後を引き継ぐ形で、2010 年度より会長職を務めてまいりました。学会を巡る状況が大きく変化する中で、本会の特徴を活かした活動の展開と、持続可能な運営を心がけてまいりました。至らぬことが多々ありましたが、皆様方のご協力に支えられてまいりました。感謝申し上げます。

見学会「文学作品に記録された近畿の鉄道と
都市景観」(神戸市中心部 その1)

1868(慶応3)年の開港以来、世界有数の港湾都市として、国際交易、文化と人の交流、交通、産業が発展し、文学作品でも数多く取り上げられました。昨秋の年次大会での岡田広一氏による特別講演会報告に基づき、神戸中心部の鉄道と都市の景観を探訪します。

・開催日時：5月28日(土) (小雨決行、大雨・荒天の場合は6月4日(土)に延期)

・集合：JR「元町」駅・東改札口、13:30

・主な見学先(予定)

①諏訪山動物園跡(現・諏訪山児童公園)・金星台

諏訪山公園（当初は諏訪山遊園）は明治初期に開園、園内には諏訪山動物園（王子動物園の前身）があった。中腹の金星台は、1874(明治 7)年のフランス観測隊による「金星太陽面通過観測」を記念して日本天文遺産に認定された。

②移住ミュージアム

1928(昭和 3)年、神戸移住センター（当初は国立移民収容所）が開設され、海外移住の拠点として多くの移住者を海外に送り出した。センターに向かう人々は現在の元町駅付近にあった旧三ノ宮駅から鯉川筋を上って行った。同センターは 1971(昭和 46)年に閉鎖、整備後の 2009(平成 21)年に「海外移住と文化の交流センター」として開館し、ミュージアムが併設された。

館の方に展示の案内・解説をしていただきます。

③北野異人館街・トアロード・神戸ムスリムモスク

開港後、外国人居留地が小野浜地先に設置されたが、当初は未整備であったため、外国人が居住できる雑居地が周辺に置かれた。北野異人館街は山手にあった雑居地で、明治大正期の洋風建築物が数多く残り、伝統的建造物群保存地区に指定されている。

トアロードはこの雑居地と居留地を結ぶ道（三宮筋通）であった。道沿いに、現存する最古の異人館、東天閣(1894(明治 27)年築)やわが国最初のモスク、神戸ムスリムモスク(1935(昭和 10)年築)がある。

・資料代：500 円

参加希望者は 5 月 24 日(火)までに、事務局宛にメールか FAX にてお申し込み下さい。

※「元町」駅から「諏訪山公園下」までバスで移動。

JR「三ノ宮」駅で 17:00 までに解散の予定。

※当日、新型コロナ対策として手指消毒を行います。各自、マスク着用してご参加下さい。発熱の場合は参加をご遠慮下さい。また、水分補給など暑さ対策を十分にし、歩きやすい靴を履いてご参加下さい。坂道があります。



写真1 金星観測記念碑

写真2 ラジオ塔

いずれも金星台内（撮影：岡田広一、22/04/05）



写真4 移住ミュージアム・玄関（撮影：22/04/25）



写真5 東天閣（撮影：岡田広一、22/04/05）

総会行事報告

寺島俊之

2022 年 4 月 16 日(土)、13:30～

司会：岡田幹事、ホスト：貝柄幹事

挨拶：二階堂会長

参加者：12 名

新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web 会議ソフト(ZOOM)を利用して実施した。特別講演はライブで実施した。

特別講演会 (13:40～16:00)

「大阪湾岸臨海工業地帯・景観調査の記録映像から」
二階堂達郎氏(大手前大学史学研究所客員研究員, 本会会長), 貝柄 徹氏(大手前大学国際日本学部長, 本会幹事)

十年一昔という言葉があるが、最近では 5 年前が一昔の感覚と感じる。今回の発表では、2016 年度～2018 年度にかけて撮影された大阪湾岸臨海工業地帯のダイジェスト映像が放映された。延べ 50 時間に及ぶ全映像では、大阪・神戸・阪神間・堺泉北・姫路・東播磨・阪南の各地域における海上景観が記録されている。

ダイジェスト映像では、以下の 3 地域に絞り込んで歴史映像として評価を行った。

①神戸港：川崎 1 号ドック等の現存しない施設が記録された。

②大阪港：取り壊し予定である安治川水門が記録され

た。

- ③尼崎港・堺泉北・姫路東播磨：取り壊し延期となった堺港発電所が記録された。この発電所は1960年代の設備の状態で残された点で貴重である。

質疑応答では、旧淀川の護岸には徳川大阪城の石垣が使用された場所もあること。兵庫運河の住吉橋は、貨物線(兵庫臨港線、兵庫駅～神戸市場駅・兵庫港駅1984(昭和59)年廃止)との立体交差のため一段高く造られた等がコメントされた。

また、NPO 法人日本科学映像館の久米川理事長様より、下記の科学映画のオンライン配信を参考にしたいとの助言があった。

「川崎重工(制作：東京シネマ、1958年)」

<http://www.kagakueizo.org/movie/industrial/59/>

2022 年度総会議案書議決結果の報告

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大のため、総会の実開催を取りやめ、特例措置として、下記の総会議案のメールや書面による議決を行った(回答期限:4月23日)。

1. 2021 年度事業報告案
2. 2021 年度決算報告・監査報告案
3. 2022 年度役員案
4. 2022 年度事業計画案
5. 2022 年度予算案

会員数 56 名、回答者数 28 名、賛成者数 28 名

総会議案の議決については、前年度と同様、会則の第 13 条「総会は会員総数の 4 分の 1 以上の出席によって成立する。ただし、委任状の提出により出席に代えることができる。」と第 14 条「総会の議事は、第 17 条の場合を除いて、出席会員の過半数をもって決する。」を準用し、会員総数の 4 分の 1 以上の回答と過半数の賛成をもって承認されたと見なす。

2021 年度事業報告案

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

1. 総会
新型コロナウイルス感染拡大のため実開催は中止。議決事項は書面・メールによって承認された。(5月18日)
2. 研究発表講演会 (2回)
◇総会行事・講演会 (4月17日) オンライン開催
・特別講演
「近畿地方における鉄道産業の立地」
中山嘉彦氏(大阪学院大学経済学部教授、本会副会長)
・研究発表講演会
「数奇な運命をたどった百貨店-高島屋東別館(松坂屋大阪店)の歴史を映像で振り返る-」(ビデオ放映と報告)
若林あかね氏(映像作家、本会会員)
◇年次大会・講演会 (11月20日) オンライン開催

・特別講演

「文学作品に記録された近畿の鉄道と都市景観」
岡田広一氏(本会幹事)

3. 見学会 (1回)

- ◇久金属工業建物群と木津川沿岸工業地帯の見学会(大阪市西成区・大正区、10月16日): 尼崎紡績(現・ユニチカ)・津守工場跡、久金属工業建物群、木津川水門、栗本鐵工所・千島工場跡、藤永田造船所(現・三井造船)・新炭屋町工場跡、大阪紡績会社(現・東洋紡)跡、三軒家船塀場跡、大浪橋、大阪環状線(旧大阪臨港線)木津川橋梁

※当初は5月29日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため6月12日に延期、さらに10月16日に再延期して実施した。

4. 調査・研究活動

- ◇関西電力堺港発電所旧施設の調査

会員の協力を得て関連調査を実施、調査報告書を取りまとめ中(大手前大学史学研究所から2022年度に刊行予定)。

- ◇津守下水処理場の調査

会員の協力を得て調査を準備中(2022年度から調査開始)。

5. 産業遺産保存活用事業(連携事業を含む)

特になし。

6. 学会誌『近畿の産業遺産』第16号の発行(5月発行予定)

論文:1点、調査報告:1点、講演記録:2点、調査報告:1点、資料紹介:1点(以上、予定)

[論文]

- ・「近畿日本鉄道奈良線一軌道位置・電車線路のあゆみ」
中山嘉彦

[調査報告]

- ・「イギリス都市景観の保全と再生1-リバプールの場合-」(仮題)
安田孝

[講演記録]

- ・「近畿地方における鉄道産業の立地」
中山嘉彦

- ・「文学作品に記録された近畿の鉄道と都市景観」

岡田広一

[資料紹介]

- ・「1950年代半ば大阪発信雑誌「サイクリングツアー」広告と総目録」
貝柄 徹

7. ニュースレター(原則として隔月発行)

2021年5月・第119号～2022年3月・第124号までの6号

8. 2020 年度役員会(すべてオンライン開催)

◇第1回(5月19日)

◇第2回(7月7日)

◇第3回(9月8日)

◇第4回(11月10日)

◇第5回(2022年1月12日)

- ◇第6回(3月2日)
- ◇第7回(3月30日)

2021 年度決算報告・監査報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

| | |
|--------------------------|---------|
| [収入の部] | (円) |
| 会費(会員:58名,うち法人会員1,名誉会員1) | 171,000 |
| 学会誌売上(@2,000×1冊,送料含む) | 2,210 |
| 研究発表講演資料代 | 0 |
| 見学会資料代(@500×28名) | 14,400 |
| 寄付金 | 0 |
| 雑収入 | 0 |
| 収入合計 | 187,210 |
| [支出の部] | (円) |
| 総会・年次大会運営費(会場費,謝礼) | 0 |
| 学会誌出版費(印刷費,発送料,振込手数料含む) | 119,174 |
| ニューズレター・各種文書印刷代 | 17,475 |
| 通信費(ニューズレター・各種文書の送料) | 22,943 |
| ホームページ管理費 | 29,480 |
| 物品等購入費 | 3,043 |
| 会議室利用料 | 0 |
| その他(学会誌表紙デザイン,見学会手土産) | 0 |
| 支出合計 | 205,797 |
| [収支] | △18,587 |
| 前年度繰越金 | 238,319 |
| 次年度繰越金 | 219,732 |
| [手許現金・預貯金残高内訳](円) | |
| 現金 | 8,581 |
| ゆうちょ銀行残高 | 188,443 |
| 三菱東京UFJ銀行(梅田中央支店) | 22,708 |
| 合計 | 219,732 |

2020年度決算の内容を監査し,相違ないことを報告いたします。

2022年3月31日 監査 林正樹
2022年3月31日 監査 瀬川健

2022 年度役員案(幹事・監査,任期は2年)

- ・会長:中山嘉彦,副会長:岡田広一
- ・幹事:貝柄徹,寺島俊之,二階堂達郎,溝口孝遠(以上,再任),若林あかね(新任)
- ・監査:瀬川健(継続),林正樹(再任)

2022 年度事業計画案

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 総会議決事項の書面による議決
新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せないため,総会の実開催を断念し,オンラインで総会行事(特別講演会など)を実施する。これに伴い,

総会議決事項は,今年度も特例措置として書面・メールによって承認を得ることとする。議決の方法は会則の規定を準用する。

2. 年次大会の開催(10月または11月)
3. 見学会の実施(約4回)
学会の特徴を活かし,付加価値を高めた見学内容とすることに努める。また,会員の要望や提案を反映させ,協力を得て実施することに努める。
当面,新型コロナウイルス感染防止策を講じながら実施する。熱中症へ対応するため,夏期の実施を避ける。
4. 役員会の運営
感染症への対応に加え,役員の負担軽減,経費節減,役員会業務の効率化のため,オンライン開催を継続する。
5. ニューズレターの発行ニューズレターの発行
第125号(2022年4月)～第130号(2023年3月)。行事開催のタイミングに合わせて柔軟に発行する。より多くの会員の投稿を求める。
6. 学会誌『近畿の産業遺産』第17号の発行
投稿規程を柔軟に運用し,資料紹介など原稿のジャンルを拡大し,ページ数制限も緩和する。より多くの会員の投稿を求める。前年度に引き続き,表紙デザインに謝礼を支払う。
7. 学会誌のリポジトリ対応・電子ジャーナル公開(J-Stage)
論文の適格性を判断しながら,執筆者の意向を尊重しながら進める。
8. 調査・研究活動の強化
研究機関のプロジェクトや科学研究費助成事業などの調査・研究への参加を追求する。
9. 連携事業の推進
産業遺産学会や他学会,諸団体などとの連携を推進する。
10. 会員の増員(目標5名)
2021年度の入会者は1名。新会員の入会促進を図る。会員数は漸減傾向が続き,57名(3月30日現在)となった。これにより2021年度に続き,2年連続して60名を下回ることとなった。

2022 年度予算案

(2022年4月1日～2023年3月31日)

| | |
|---------------------------|---------|
| [収入の部] | (円) |
| 会費(会員:58名,うち法人会員1,名誉会員1) | |
| ※納入額5,000円の誤り1件 | 184,000 |
| 学会誌売上(@2,000×5冊) | 10,000 |
| 研究発表講演資料代(@500×20名(年次大会)) | 10,000 |
| 見学会資料代(@500×60名) | 30,000 |
| 寄付金 | 0 |

| | |
|--------------------------|---------|
| 雑収入 | 0 |
| 収入合計 | 223,000 |
| [支出の部] | (円) |
| 総会・年次大会運営費(会場費, 謝礼) | 15,000 |
| 学会誌出版費(印刷費, 送料, 振込手数料含む) | 130,000 |
| ニューズレター・各種文書印刷代 | 25,000 |
| 通信費(ニューズレター・各種文書の送料) | 25,000 |
| ホームページ管理費 | 29,500 |
| 物品等購入費 | 2,000 |
| 会議室利用料(2回程度を見込む) | 4,000 |
| その他(見学会諸費, 手土産) | 5,000 |
| 支出合計 | 235,500 |
| [収支] | △12,500 |
| 前年度繰越金 | 238,319 |
| 次年度繰越金 | 225,819 |

昨年度に引き続き、今年度も役員会および総会行事のオンライン開催を見込むため、会議室・会場の利用代を抑制する。また、総会収入(研究発表講演資料代など)と支出(大会運営費)の減少と抑制を見込む。見学会の開催回数を昨年度より増やすため、関連する収入(見学資料代など)支出(手土産など見学会諸経費)の増加を見込む。ニューズレター、見学資料集、その他文書の印刷は、引き続き商業サービスを利用するため、印刷経費の支出を見込む。

収入と支出とも減少するが、収支は赤字となり、昨年度より赤字幅が拡大することを見込む。

喜多家住宅・長壽會細菌研究所(奈良市)を再訪して 二階堂達郎

4月17日、奈良市の乳酸菌飲料製造会社(長壽會細菌研究所、後に奈良食品工学研究所)の工場跡を訪れた。2013(平成25)年に実施した奈良少年刑務所(旧奈良監獄)見学会の際に見学させていただいたが、当時のままの姿で保存され(本紙75号に寺島幹事が詳細な記事を書かれている)、懐かしい思いに満たされた。

当時、工場に隣接する居宅は登録有形文化財(2007年登録)になっていたが、2020(令和2)年、工場跡(工場・製品庫)も登録された。創業者の子孫、喜多和夫氏の熱意の所産である。氏は今も工場跡を喫茶店として活用され、店内にはお客さんが雰囲気と食事を楽しんでいた。

同工場は、1914(大正3)年に操業開始、昭和末期まで稼働していた。工場内には、サクシヨングスエンジンシステム、冷却用コンプレッサ、タンク、冷蔵室、コルニッシュ・ボイラ、圧力釜、動力伝達用シャフト・ベルト・プーリーなど、昭和前期の機械設備が多数残されている。奈良県近代化遺産総合調査(2011~13(平成23~25)年)で藤本雅之会員が詳細な調査をされており、その調査結果が登録の際に活用された。これらの機械設備がどのように使われていたかなどの質問を受けることが多いと

のお話をうかがい、お力になればとの思いが募った。



写真1 コルニッシュ・ボイラ



写真2 サクシヨングスエンジンシステム, 冷却用コンプレッサ, タンクなど

【お知らせ】商船三井ビル(神戸)が公開中です

神戸旧居留地にある商船三井ビルが2022年4月に竣工100周年を迎えたのを記念し、1階エントランスが一般公開されます。詳細は下記URLをご覧ください。

- ・見学可能日: 5月31日(火)までの平日
- ・時間帯: 9:00~16:00

URL: <https://www.mol.co.jp/pr/2022/22055.html>

【お知らせ】亀ノ瀬トンネルが公開されます

「朝日・五私鉄リレーウォーク」の一環として実施される「フリーウォーク」(5月16日(月)~29日(日))期間中の下記日時に、「旧大阪鉄道亀瀬隧道(トンネル)」と「亀の瀬地すべり歴史資料室」が事前申し込みなしで見学できます。詳細は下記URLをご覧ください。

- ・見学可能日: 5月22日(日), 29日(日)
- ・時間帯: 10:00から12:00, 13:00から15:00

URL: <https://a-5walk.jp>

- ・主催: 五私鉄(近鉄・阪神・南海・京阪・阪急)、後援: 朝日新聞社・朝日放送テレビ・日刊スポーツ

アクセス統計 (2022年3月分)

科学技術振興機構(JST)より提供された2022年3月分の「J-STAGEアクセス統計データ」(クローラーによるアクセスを除外)の概要です。

登載論文数(これまでに登載済みの分) : 16

書誌事項へのアクセス数 : 合計 80回

全文PDFへのアクセス数 : 合計 36回

(アクセス数が最も多かった論文 : 書誌事項 ; 17回, 全文PDF ; 10回)

2021 年度第 4 回役員会議事録

※前号でお知らせしましたように掲載が漏れていたため遅れて掲載します。

日時 : 2021年11月10日 (水) 19 : 30~20 : 30

オンライン開催

参加者 : 二階堂会長, 中山副会長, 岡田幹事, 貝柄幹事, 垣本幹事, 寺島幹事, 溝口幹事

議事 :

1. 前回役員会議事録の承認
2. 見学会について

「久金属工業建物群と木津川沿岸工業地帯の見学会」(10月16日) : 参加者数29名。見学会「住友金属発祥の足跡を辿る」 : 訪問先と調整して, 来年3月の上・中旬の開催をめざす。

3. 年次大会の開催について

11月20日(土), 13 : 30からオンライン方式で開催。特別講演 : 岡田幹事「文学作品に記録された近畿の鉄道と都市景観 -神戸・阪神間を中心に-」。ホストは貝柄幹事。

4. 2022年度総会開催・議案議決の方法について

ハイブリッド方式で4月開催をめざす。会場候補に神戸大学, 大阪教育大学が挙がる。新役員を募る。

5. 学会誌第16号の原稿募集

申込締切日 : 論文(査読付き)は2021年12月31日。論文以外は2022年2月28日。

6. 学会誌の電子ジャーナル公開について

3, 4号掲載論文を公開。

7. ニュースレター122号

2022年1月に発行予定。

8. 調査・研究について

・津守下水処理場の調査 : 大阪市建設局下水道部担当者と11月22日(月)に打ち合わせ予定。

9. その他

産業遺産学会・功労者表彰のため阪堺電気軌道株式会社を訪問(二階堂会長, 岡田幹事が同行, 中山副会長は産業遺産学会理事として出席, 10月28日)。

次回役員会 : 2022年1月12日(水)

日時 : 2022年3月30日 (水) 19 : 30~20 : 30

オンライン開催

参加者 : 二階堂会長, 中山副会長, 岡田幹事, 貝柄幹事, 垣本幹事, 寺島幹事, 溝口幹事

議事 :

1. 前回役員会議事録の承認
2. 2022年度総会開催について
開催内容について再確認。
3. 2022年度総会議案書案と書面議決について
議案書案の内容と議決手順(①3月末までに議案書案を作成。②4月初めに会員に送付, ③「賛成・否認」回答受付(期限 : 4月10日))の確認。
4. 会計について
会計監査の実施・会費納入状況の報告あり。
5. 見学会について
見学会「住友金属発祥の足跡を辿る」と「街歩き」見学会を並行して準備。いずれかを5月か6月に開催。
6. 学会誌第16号の原稿募集
安田会員, 中山会員, 貝柄会員, 岡田会員の原稿を掲載予定。
7. 学会誌の電子ジャーナル公開について
総会行事後に再開。
8. ニュースレター125号
4月初めに発行予定。
9. 調査・研究について
・関西電力堺港発電所旧発電施設, 津守下水処理場の調査の経過報告あり。
10. その他
学会封筒の印刷が承認された。「大仏鉄道遺構めぐり」, NPO「産業技術資料保存調査会」の報告あり。
次回役員会 : 2022年5月11日(水)

会員訃報

会員の吉田猛雄氏が逝去されました。謹んで哀悼の意を表すとともに, ご冥福をお祈り申し上げます。(2022年4月8日にご家族から連絡をいただきました。)

2022年5月15日発行

編集 近畿産業考古学会 編集委員会

発行 近畿産業考古学会 会長 中山嘉彦

URL : <http://kinias.jp>

事務局 564-8511 大阪府吹田市岸部南2丁目36番1号

大阪学院大学 経済学部 中山嘉彦研究室気付

Tel : 06-6381-8434 (代), Fax : 06-6382-4363 (代)

E-mail : kinias-ec@nifty.com

会費納入先(郵便振替)

口座番号 : 00950-9-150085, 加入者名 : 近畿産業考古学会